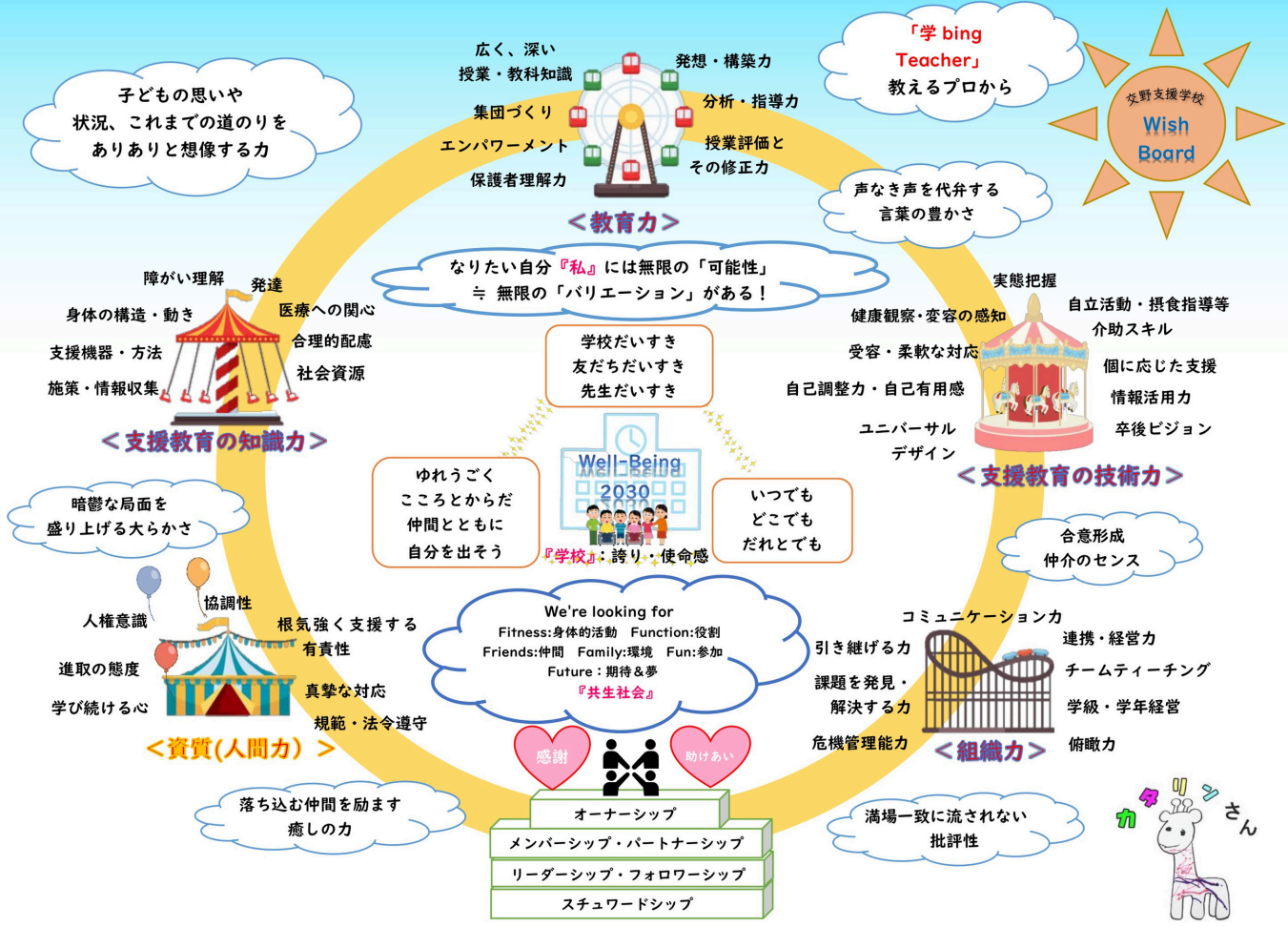


交野支援学校版 専門性チェックリスト



Mapping Sheet (for yourself) <自分自身と向き合う地図>

交野支援学校版 専門性チェックリスト



この表に自己評価の数値を入力するとレダチャートが自動作成されます

	1	2	3	4	5	6	略称
教育力	1	授業・教科・子どもの集団づくりに関する広く深い知識	【cf:別紙 交野マトリクス】	授業・教科・集団づくり			
	2	児童生徒の実態や興味関心に合わせた授業を作り上げる発想力・構築力		発想力・構築力			
	3	児童生徒の思い・状況、これまでの道程を想像でき、追走・並走・先行支援を組合せる力		想像力			
	4	授業を振り返り、分析・評価・修正でき、本人・保護者・教員間で情報共有できる力		評価・修正力			
	5	目的と手段を混同することなく、児童生徒をエンパワーメントできる指導力(引出しの多さ)		指導力			
	6	保護者理解(対応)力(受容・連携・わかりやすさ・家庭背景にも思いを馳せる力)		保護者理解力			
支援教育の知識力	1	障がい(理解)やてんかんに関する知識		障がい理解			
	2	発達に関する知識		発達			
	3	医療や身体の構造・動きに関する知識(医療的ケア・疾患・薬・体・摂食などへの関心・探求)		医療・身体構造			
	4	支援機器(車いす・補助具・自動具、AAC・ICT機器など)や支援方法(合理的配慮)に関する知識		支援機器・方法			
	5	児童生徒の学校以外での生活に関する知識(福祉・進路先・病院など)		生活環境			
	6	国・府等の施策や全国の動向・情報をキャッチアップする力		施策・情報			
支援教育の技術力	1	引継ぎついで情報の活用と児童生徒の実態把握(障がい特性の理解含む)ができる力		実態把握・理解			
	2	詳細に健康観察ができる力とその変化・変容に気づくことのできる観察力		観察力			
	3	ありのままを受容し、時と場所、機会をマネジメントしながら、自己調整力を導ける		受容と対応			
	4	自立活動や摂食指導等(PT/OT/ST・心理療法等知見)と安心安全に過ごせる介助のスキル		自立活動スキル			
	5	個に応じた支援を計画・実行・評価・改善し、ユニバーサルデザイン化できる力		個別対応			
	6	児童生徒の自己有用感を育て、卒業を見越したビジョンを持って指導する力		卒業のビジョン			
組織力	1	コミュニケーション力・相談力・働きかけ力(自身の考えや思い、教員間で目的共通認識)		コミュニケーション			
	2	連携する力<保護者・委託機関・外部(出身園校・福祉・医療・進路先など)機関>		ネットワーク・協働			
	3	学校に愛着を持ち、自身の経験を活かし、次へと引き継いでいく力【cf:別紙 6SHIP】		引継ぎ力			
	4	物事を俯瞰し、課題を発見・解決する力(計画性・調整・仲介・求心力・批評力)		マネジメント			
	5	学級経営・学年経営(授業を含めたチームティーチング、理解・共感しあえる集団づくり)		チーム力			
	6	危機管理能力(インシデント・事故・防犯防災・感染症対策・ストレスコントロールなど)		危機管理能力			
資質(人間力)	1	相手の立場・全ての人の人権を大切にできる心		人権意識			
	2	協調性(挨拶、思いやり、感謝する心・誠実さ・真摯な対応・励まし・癒し)		協調性			
	3	現状の課題はすでに与えられた結果と捉えて自らが責を負い、焦らず粘り強く支援する熱意		熱意			
	4	進んで参加する態度があると同時に、吸収し学び続け、自分を変える勇気を持つ		向上心			
	5	ハラメントを許さぬ態度と社会的規範及び法令遵守の態度		コンプライアンス			
	6	次世代への強い関心・学校教育に携わる誇り・使命感・役割意識(負託に応える意識)		使命感			

学校長あいさつ

このパンフレットを手にとっていただきありがとうございます。交野は、平安時代より桜狩りの地として知られ、学校は交野三山の四季折々の変化を感じられる環境にあります。その中で、日々私たちは「学BING TEACHER」

をめざし、研究部を中心に肢体不自由の子どもたちのために授業や研修の充実を図っています。R3年度に「働くうえで必要な専門性とは何か」を全教職員で協議し「交野支援版専門性チェックリスト」を作成しました。1つめは、「今、学ぶべきことは何か？」必要とする専門性を「宝の地図」としてキーワードで示した「WISH BOARD」2つめは、自己評価することで、強み・弱みがリーダーチャートで自動作成される「MAPPING SHEET」です。これらを活用することで、「なりたい教員像」を心に留めて、日々共に研鑽していく、そんな教員集団でありたいと考えています。

第16代校長 可知 万千代